



町長さんと語る会

「富士河口湖町をさらに魅力ある町にしていくためには」



今年度も11月2日（水）に富士河口湖町の町長さんと語る会が開催されました。町内の小中学生および高校生、24名が参加しました。

「富士河口湖町をさらに魅力ある町にしていくためには」をテーマに話し合いが行われました。

議長は河口湖北中学校の白井開さん。町長さんや各課長の皆様に様々な質問や意見が出され、活発な話し合いを行うことができました。自分たちの学校や富士河口湖町の未来を真剣に考える姿は、大変立派でした。子どもたちの思いをしっかりと受け止め、丁寧に答えてくださった町長さんをはじめとする町の各課長の皆様、本当にありがとうございました。

町長さんからの熱いメッセージ

皆さんの今の仕事は勉強。皆さんのお父さんやお母さんは、それをバックアップするために朝から晩まで働いている。その勉強は今の時期しかできない。だから勉強をし、その結果何になりたいのか、何をしたいのか、それを早く決めたい方がいい。何かを極めるためにまず知識を得る、勉強する。その勉強の結果何をしたいか、何になりたいかを早く決めていただきたい。学校を卒業し社会人になった時には、最後にこの町に帰ってきてほしい。そしてこの町を再度作り直してもよし、前進させてもよし、町の将来は皆さんのような若者にかかっている。ぜひ、頑張ってください。

町長さんへのお礼と感想発表(代表)

豊茂小 直接自分たちの考えを言えてよかった。僕の学校や家で富士河口湖町をより良くできる方法を考えた。

勝山中 私たちのさまざまな質問に答えてもらいありがとうございました。町長さんがこの町をよりよくしたいと思っていることがわかった。この町の発展に貢献できるようにしていきたい。

富士河口湖高校

今日の会を通して、町長さんや課長さんたちが、町のことをすごく大事にしていることが伝わってきた。質問や提案にすごく丁寧に答えてくださり有意義な会になった。町長さんの話の「町全体が大きなサービス業」ということが心に残った。町長さんの熱い思いを感じた。この町、地域の発展に貢献していきたい。

防災学習 起震車体験 西浜小学校

西浜小学校で全校児童を対象に防災学習の一環として起震車体験が行われました。これは、地震の揺れを擬似体験することで、地震災害に対する意識を高め、万が一に備えることを目的としています。

これまでテレビなどで見たことがあっても実際に震度6や7を経験したことのない子どもたちは、怖々起震車に入っていました。実際に揺れ出すとみんな真剣な表情でテーブルの下に潜り、テーブルの足をしっかりと持って揺れ

がおさまるのをじっと待っていました。起震車から降りる時のほっとした表情がとても印象的でした。

最後に子どもたちから「地震がこんなに怖いとは思いませんでした。今までに経験したことのない揺れですごくびっくりしました。もし本当にきた時にどうすればいいのか家でも話し合いたいです。」といった感想が発表されました。

地震の揺れを実際に体験することで、身近なこととしてとらえられたのではないのでしょうか。今回感じたこと、学んだことを、家族とも共有してほしいと思います。



起震車の説明を聞く子どもたち



体験する子どもたち

お詫び

富士豊茂小学校の皆様、大変申し訳ありませんでした

前号（NO.13）のセンターだよりに修学旅行の記事を掲載しました。その際、富士豊茂小学校の写真に掲載しないままに発行してしまいました。大変なご迷惑をかけてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。今後このようなことがないように十分留意してまいります。

ここに改めて写真を掲載させていただきます。

富士豊茂小学校は6年生8名、5年生1名の複式学級です。今年度は5、6年生一緒に修学旅行に行ってきました。常にお互いを思いやり認めあってここまで大きく成長してきた皆さん。修学旅行でもその力を発揮し、みんなで楽しい時間を過ごし、最高の思い出をつくることができました。これからも心を一つにして頑張ってください。



富士豊茂小学校 修学旅行